

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 海津明誠高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月12日(木) 14:15～16:30
- 3 開催場所 海津明誠高等学校 大会議室

- 4 参加者

会 長	後藤 純二	関係機関
副会長	北島 幸枝	地域代表
委 員	安立 顕	関係機関
	伊藤 亮一	同窓会関係
	岩田 三佳	関係機関
	高木 由美子	関係機関
	中島 敏郎	保護者代表
	安田 眞見子	地域代表
	山田 千彩	関係機関

学校側	向田 富紀子	校長
	水野 裕子	教頭
	北島 康隆	教頭
	駒渕 晴美	事務長
	串戸 正一	教務主任
	西科 恵介	進路指導主事
	小田切 淳	生徒指導主事
	野田 賢治	特別活動担当
	久保田 和友	商業科主任
	酒井 美也	生活産業科主任

- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 本校の現況について
 - (2) 授業参観及び校舎施設見学
 - (3) 生徒による学校紹介・説明
 - (4) 令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画について
 - (5) 意見交流

- 意見 1 : 市でも色々な行事があるが、夏祭りや産業祭は本校との協力体制がある。今年の産業祭は地元企業の出展をメインにしたいと考えており、本校のブースも作るので、学校をPRしてほしい。そのような機会も大切にして、志願者増加に繋げてもらいたい。
- 意見 2 : 生徒減少により、今後の部活動が運営できないのではないかと心配している。部活動（特に運動部）を活性化して、生徒募集に繋げてはどうか。また、コラボ商品等をきっかけに、海津を大きくして行ってほしい。
- 意見 3 : 生徒と先生が本音で語り合うことが大切であり、信頼関係を構築することが重要である。遅刻指導等を通して、人としての道徳的指導を推進してほしい。
- 意見 4 : 教育相談の相談件数が多いが、誰に相談し、その相談した内容は、解決しているのか。また無断で遅刻等をする生徒はいるのか。その場合は連絡をとっているのか。
⇒教育相談担当者を中心に、生徒は相談しやすい教職員に相談している。すぐに解決できない問題もあるが、折り合いをつけられるよう支援している。無断で遅刻等をする生徒には、担任が必ず連絡をとっている。
- 意見 5 : 先日、海津市役所の若手職員が本校を訪問した際に、本校出身者でもこんなことをやっているのかと発言していた。本校の魅力を保護者や中学生に広める必要性を感じた。発表生徒から「市長との話合いは貴重だった」という発言があったので、市としても地域との関わりを今後も大切にしていきたい。
- 意見 6 : 本校と生徒が、海津市について考えてくれていることは大変有難い。昨年度の生活デザイン科の取組で、手作りの箱が認定こども園に届き、市民からたくさんの服が寄せられた。今後も生徒が一生懸命取組める活動を継続してほしい。
- 意見 7 : 授業見学を通して、少人数だと感じた。生徒の発表で、高校は自分で選択したとのことであったが、中学校の教職員や保護者の影響力もあるのではないかと。
- 意見 8 : 生徒数の減少等のマイナス面ばかりが目立ちすぎている印象であるが、保護者や中学生に、本校の魅力を伝えていくことが大切ある。昨年度、図書館の利用者が減っているとのことだったが、読書を通じて、創造力を育成してほしい。
- 意見 9 : 市報かいづ等で、本校の記事を目にすることが増えてきてよい。本校は様々な活動をしており、活動の幅が広く、生徒にとって勉強ができる環境が整っている。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。会議の意見等を今後の学校経営に活かしていきたい。